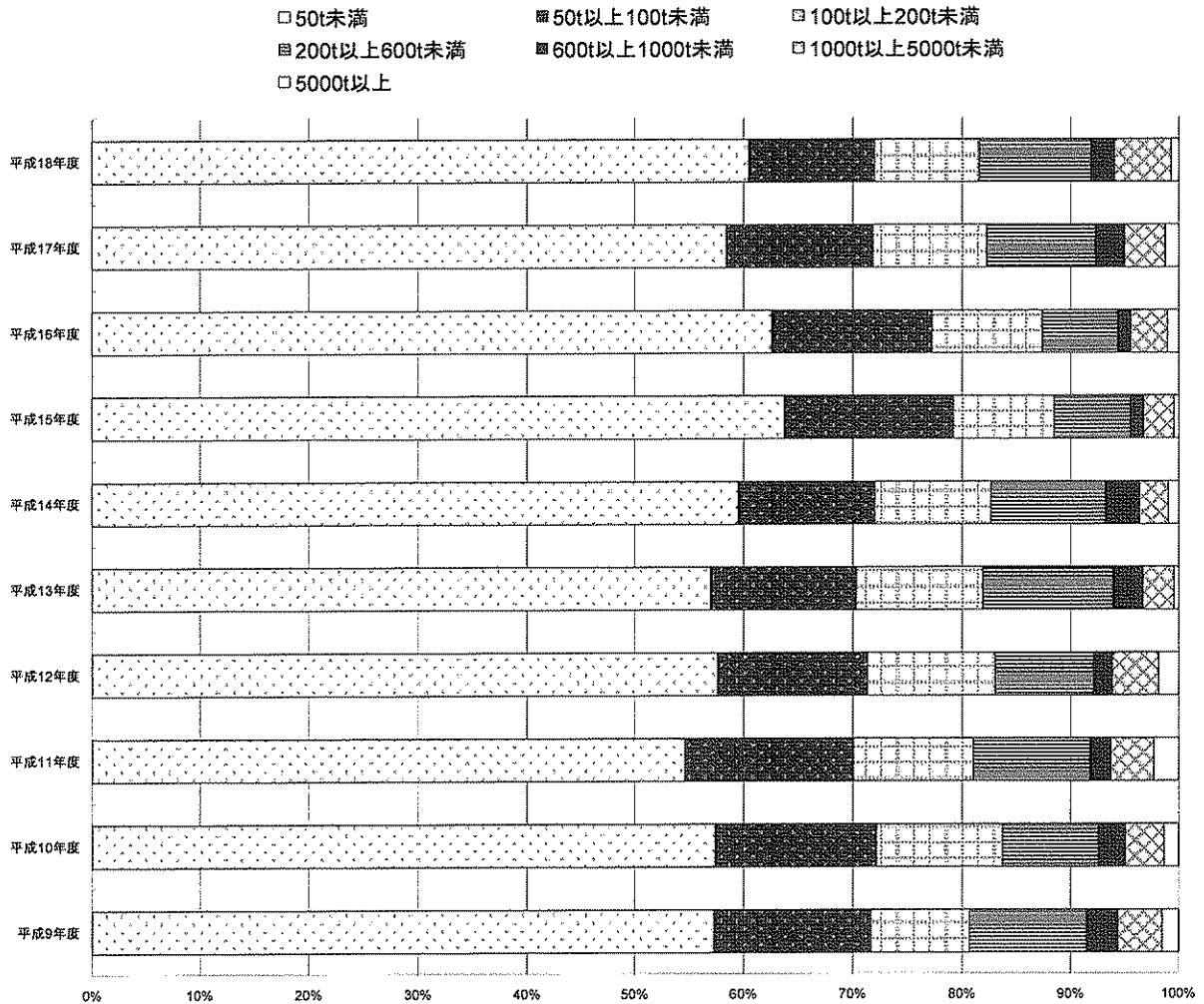


2. 規模別不法投棄件数

投棄規模	平成9年度		平成10年度		平成11年度		平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
50t未満	490	57.3	687	57.4	573	54.6	592	57.6	655	57.0	556	59.5	570	63.8	421	62.6	326	58.4	335	60.5
50t以上100t未満	123	14.4	177	14.8	162	15.4	141	13.7	154	13.4	117	12.5	138	15.4	99	14.7	75	13.4	64	11.6
100t以上200t未満	77	9.0	138	11.5	115	11.0	120	11.7	133	11.6	99	10.6	83	9.3	68	10.1	58	10.4	53	9.6
200t以上600t未満	92	10.8	106	8.9	113	10.8	93	9.1	138	12.0	99	10.6	63	7.0	47	7.0	56	10.0	57	10.3
600t以上1000t未満	25	2.9	30	2.5	20	1.9	18	1.8	32	2.8	29	3.1	11	1.2	8	1.2	15	2.7	12	2.2
1000t以上5000t未満	35	4.1	43	3.6	42	4.0	44	4.3	33	2.9	25	2.7	25	2.8	23	3.4	21	3.8	29	5.2
5000t以上	13	1.5	16	1.3	24	2.3	19	1.9	5	0.4	9	1.0	4	0.4	7	1.0	7	1.3	4	0.7
合計	855	100.0	1,197	100.0	1,049	100.0	1,027	100.0	1,150	100.0	934	100.0	894	100.0	673	100.0	558	100.0	554	100.0

規模別不法投棄件数の推移

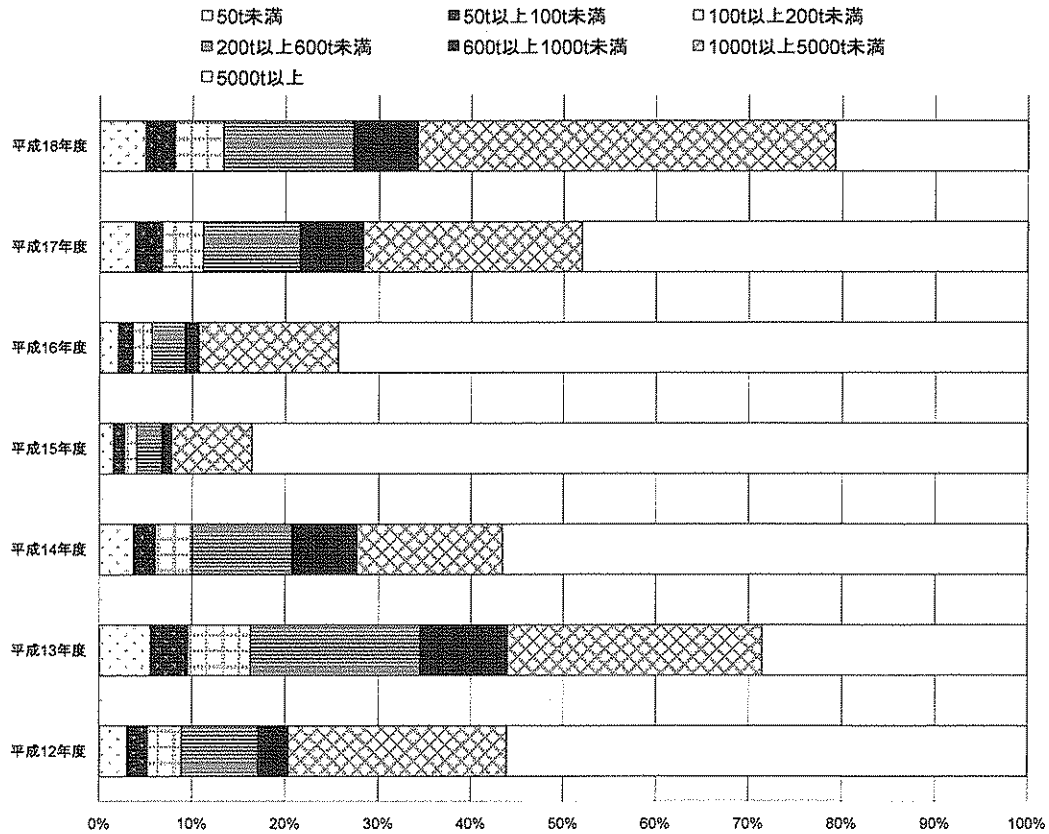


3. 規模別不法投棄量

投棄規模	平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	投棄量(t)	割合(%)	投棄量(t)	割合(%)	投棄量(t)	割合(%)	投棄量(t)	割合(%)	投棄量(t)	割合(%)	投棄量(t)	割合(%)	投棄量(t)	割合(%)
50t未満	12,135	3.0	13,389	5.5	11,765	3.7	11,346	1.5	8,427	3.7	6,605	3.8	6,474	4.9
50t以上100t未満	8,867	2.2	9,708	4.0	7,427	2.3	8,653	1.2	6,377	2.3	5,021	2.9	4,116	3.1
100t以上200t未満	14,856	3.7	16,233	6.7	12,738	4.0	10,152	1.4	8,369	4.0	7,509	4.4	6,870	5.2
200t以上600t未満	33,138	8.2	44,018	18.2	33,994	10.7	20,151	2.7	14,779	10.7	17,678	10.4	18,240	13.9
600t以上1000t未満	13,001	3.2	22,846	9.5	22,019	6.9	7,672	1.0	5,976	6.9	11,701	6.8	9,081	6.9
1000t以上5000t未満	94,807	23.5	66,452	27.5	50,095	15.7	64,067	8.6	61,399	15.7	40,812	23.7	59,180	45.1
5000t以上	226,449	56.2	69,030	28.6	180,143	56.6	622,937	83.6	305,499	56.6	82,654	48.0	27,282	20.8
合計	403,274	100.0	241,676	100.0	318,181	100.0	744,978	100.0	410,624	100.0	172,179	100.0	131,233	100.0

※ 投棄量は、四捨五入してあるため合算した値は合計値とは異なる。

規模別不法投棄量の推移



(参考3)平成18年度大規模事案の概要

1 宮崎県国富町

- 投棄量 5,500 トン
- 廃棄物の種類 木くず
- 投棄実行者 許可業者
- 行政処分 改善命令発出
- 支障の除去等の状況 撤去中
- 概要

本事案は、許可業者が平成14年10月以降、林道整備や河川改修等に伴って生じた根株、伐採木等を産業廃棄物として受け入れ、中間処理（破碎）した「木くず」を借用地に投棄したものである。

県は、平成19年2月に改善命令を発出して、不適正処分された「木くず」の撤去及びこれを適正に処分することを指示しており、平成19年11月末現在の残存量は約400トンとなっている。

2 愛知県岡崎市

- 投棄量 5,781.8 トン
- 廃棄物の種類 汚泥
- 投棄実行者 許可業者
- 行政処分 なし
- 支障の除去等の状況 投棄者による自主撤去状況の信憑性を審査中
- 概要

平成18年8月から9月にかけて、自動車部品製造事業者から汚染土壌工事を請け負った投棄者（愛知県知事の産業廃棄物処分業許可業者）は、当市内の現場から汚染土壌を除去した後、現状地盤面まで復旧する際、鉄鋼事業者から有害物質（金属）を含んだ産業廃棄物である汚泥の中間処理後産業廃棄物（許可された処理内容と異なり、生石灰の投与、造粒固化等の簡易な処理をした物）を「再生土」と称して投棄した。

当該事案が発覚した直後に行なった溶出試験では、土壤環境基準を超える物質はなかった。（地下水からは、ほう素、ふっ素及びテトラクロロエチレンが地下水環境基準値を超えて検出されたが、現場は自動車部品製造工場跡地であり、以前から同様の物質の地下水汚染があった。）また、その後に行なったボーリング調査でも土壤環境基準値を超えた物質は検出されなかった。

投棄された物は本年5月下旬から11月下旬にかけて投棄者により自主的に

撤去され、現在、18 条報告などにより完全に撤去されたか否かを審査している。

3 千葉県千葉市

- 投棄量 5,000トン
- 廃棄物の種類 建設混合廃棄物
- 投棄実行者 複数
- 行政処分 なし
- 支障の除去等の状況 未着手
- 概 要

平成9年4月頃、地域住民より近所の敷地に廃棄物を投棄していると通報が入り、市では警察と連携し、調査・指導を行ってきた。

その後、平成11年2月に現場内で原因不明の火災が発生し、また、実行者が行方不明になった。

市では生活環境への支障のおそれが生じた場合には、地主等への指導を行っていく。

4 千葉県千葉市

- 投棄量 15,000トン
- 廃棄物の種類 建設混合廃棄物
- 投棄実行者 複数
- 行政処分 なし
- 支障の除去等の状況 一部撤去済
- 概 要

平成10年12月頃、現場近隣事業者より、会社の隣の敷地に廃棄物が大量に搬入されているとの通報があり、市は継続して立ち入り調査を実施してきた。

平成11年7月、首謀者及び関係者が逮捕され、その他関係者も行方不明となってしまった。その後、排出事業者等により約4,000トンが撤去された。

市では現場状況の監視を継続するとともに、生活環境への支障のおそれが生じた場合には、地主等への指導を行っていく。

※ 本事案は、平成10年度に発覚していたが、環境省への報告が遅れていたもの。